

「自然と調和した、 ふれあい・安心安全・ 住みよいまち」を目指して

施政方針

本年は、私が町長に就任いたしましたから10年という節目の年となりますが、私は、就任以来、だれもが安心して安全に暮らせるまちづくり「に全力を傾注し、多くの皆様のご指導やご協力のもと、粉骨砕身、町政運営に取り組みてまいりました。

これもひとえに議員各位のご協力と町民の皆様のご理解によるものと深くお礼申し上げます。また、みどりうるおつ美しい環境の拠点として、町民の皆様が愛されております無線山が緑のトラスト保全第13号地「無線山・KDDIの森」として決定されました。今後はより一層、保全活動を進めてまいります。

また、みどりうるおつ美しい環境の拠点として、町民の皆様が愛されております無線山が緑のトラスト保全第13号地「無線山・KDDIの森」として決定されました。今後はより一層、保全活動を進めてまいります。

また、年度初めの4月から



町長 野川 和好

はテレビ埼玉のデータ放送を利用して、町内の防災・防犯情報やイベントのお知らせ、防災行政無線の放送内容などを発信し、多方面での情報提供に努めております。

また、みどりうるおつ美しい環境の拠点として、町民の皆様が愛されております無線山が緑のトラスト保全第13号地「無線山・KDDIの森」として決定されました。今後はより一層、保全活動を進めてまいります。



鯉川村と協定を締結

施策を実施したところでございます。

平成26年度を考えますと、日本銀行によります量的金融緩和政策により円安と株価の上昇がもたらされ、またアメリカの景気が順調に回復の兆しを見せ、一部の大企業では景況感が好転していると報道されており、4月からは消費税が8%に引き上げられ、景気が失速する可能性も考えられます。

一方、財政出動などで景気へのテコ入れを強めてくる方向性もあり、増税後の景気動向に注視していかなければならない混沌とした一年になるうかと思われま。

このような状況ではありませんが、私が町長に就任いたしましたから10年という節目の年、心機一転、新たな第一歩を歩ませていただき「だれもが安心して安全に暮らせるまちづくり」の実現を引き続きめざし、また行財政改革をさらに推し進め、4万3千有余の町民の皆様への負託に応えて

まいりたいと考えております。

伊奈町総合振興計画
後期基本計画に基づく
平成26年度の主な施策

心豊かな人と文化を育む

教育・文化面では、学校施設の老朽化対策の一環として、小針小学校南校舎の外壁改修工事を実施するほか、小針北小学校の児童数の増加に伴う教室の増設工事を行うなど、教育環境の充実を図ってまいります。また、新たに学校図書館支援員を各小・中学校に配置し、学校図書館機能の充実を図ってまいります。

このほか、誰もが生涯を通じていきいきと学び、その成果が生かされる生涯学習社会の実現を図るため、生涯学習推進計画」を策定いたします。

すこやかで心安らぐ福祉を育む

福祉面では、地域福祉の具体的指針となる「地域福祉計画」を策定するほか、子ども子育てに関する新しい制度に対応するため、「子ども・子育て支援事業計画」を策定いたします。

また、消費税率引上げによる低所得者の影響を緩和する

ため「臨時福祉給付金」を、子育て世帯への影響を緩和するため「子育て世帯臨時特例給付金」を、給付してまいります。

保育環境の整備に向けては、保育所待機児童の解消を目指し、さらに2か所の民間保育所の増設に取り組んでおり、内宿駅東側に平成27年4月、中央保育所東側に平成28年4月の開園を目指し、それぞれ施設整備ならびに開園に向けた準備を進めております。また、放課後児童クラブへのニーズの増加、対象となる児童の拡大に対応するため、放課後児童クラブを増設し、子育て世代への支援を図ってまいります。

健康面では、胃がんの早期発見等を目指しペプシノゲン検査の助成を新たに開始するなど、町民の健康の増進を図ってまいります。また、重度心身障害者医療およびひとり親医療の窓口払いの廃止に向けた準備を進めてまいります。

みどりうるおつ美しい環境を育む

環境面では、無線山・緑のトラスト保全地の整備に向けて、用地取得に着手いたします。また、地球環境問題など

に町民・事業者・町が一体となって取り組む「環境基本計画」の策定を行います。



緑のトラスト保全地

交通基盤の整備では、引き続き、いな穂街道の拡幅・歩道設置をはじめとした町道整備を進めるとともに内宿駅、丸山駅に続き、羽貫駅にエレベーターを設置いたします。



いな穂街道

また、上尾市と連携しながら境橋の本橋設置に向けた準備を進めてまいります。

生活基盤の整備としては、上水道では、浄水場次亜注入設備の更新、耐震化を目的とした配水管布設管工事のほか、下水道では氷川地区および細田山地区の整備を順次進めてまいります。

消防面では、上尾市との共同により、消防救急無線のデジタル化に向けた取り組みを実施するとともに、水槽付ポンプ自動車および消防ポンプ自動車の入替えを行い、迅速な消防救急体制の強化を図ってまいります。

防災面では、地域防災計画の見直しを実施するとともに、避難所運営マニュアル・職員初動マニュアルの改訂を行います。また、総合センターの耐震補強工事に着手するなど「安心・安全のまちづくり」をさらに進めてまいります。

暮らしと活力を支える産業を育む

農業振興として、老朽化した水路の計画的な改修に向けて必要な準備を進めるとともに、新規就農者をはじめとした担い手の育成支援に取り組んでまいります。

また、商工業振興として、毎年好評となっているB級グルメ王決定戦や商工フェアの充実を図るため、町商工会に引き続き支援を行っていかくか、町観光協会によるゆるキャラを活かした関連グッズの作成、好評な伊奈町産の米を原料とした「純米酒 伊奈備前守忠次」の販売など、町の

活性化とPRに向けた各種取り組みについて、積極的な支援を行います。



伊奈ローズちゃん、ローズくん

いきいきとした参加型社会を育む

引き続き人権啓発・男女共同参画の推進を図ってまいります。

住民参加といたしましては、さいたま中央青年会議所と共催で「町民討議会」を引き続き実施し、町民の町政への積極的参加を促してまいります。

また、町の情報発信手段の多様化に向けて、フェイスブックなどのソーシャルメディアの導入を図ってまいります。行政運営といたしましては、平成27年度を計画初年度とする総合振興計画を策定してまいります。また、業務システムの効率化と運用経費の削減を図るため、県内18町村による情報システムの共同化に取り組む、平成26年10月から、庁内の主要な業務システムへ

導入してまいります。

町民の皆様にとつてわかりやすく、機能的な組織とするため機構改革を行います。町における保育の総合的な提供と、子ども・子育て支援を一元的に実施するため「子育て支援課」を、町の広報活動の中心となり、迅速で最適な情報発信を行うため「秘書広報課」を新たに設置いたします。

また、町民の利便性向上に向けて、住民課の窓口で、平成26年10月からバスポート申請・交付業務の取扱いを開始するほか、町民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税を、全国のコンビニエンスストア窓口で支払い可能とするサービスを平成27年1月から開始いたします。

予算編成方針

国の平成26年度地方財政対策におきましては、地方税および地方譲与税の増加を見込み、地方交付税と合わせた一般財源総額では25年度水準を確保するものとしていきます。歳出では、防災、減災事業の増額、地方消費税の引き上げによる増収分を活用して、少子化対策、医療・介護などの社会保障の充実が図られております。

町の財政状況につきまして、景気の回復傾向を受け歳入の根幹をなす町税や消費税の引上げに伴う地方消費税交付金の増加が見込まれますが、地方交付税および臨時財政対策債の減少もあり、一般財源の大幅な増加が期待できる状況ではございません。歳出におきましては、高齢化の進展による介護、医療費、各種検診や予防接種などの保健関連経費、また子育て支援関連経費などいわゆる社会保障関連が大きく増加しております。

また公共施設における耐震改修や老朽化対策、駅舎バリアフリー化、道路や排水路等の整備、防災・減災関連事業など多額の財政負担が見込まれる状況でございます。

また、依然として高い水準にある借入金償還は町の将来の大きな負担となること想定されます。

こうした厳しい財政状況の中で、各種の補助金の活用や交付税算入のある有利な地方債を活用し、各事業の「選択と集中」により平成26年度予算を編成いたしました。

予算の詳細については次ページ以降へ